

Incidence of Inadvertent Intraoperative Hypothermia with Continuous Air Forced Active Warming. Single Center, Retrospective Study

メタデータ	言語: en 出版者: 公開日: 2020-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 湯本, 充規子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032435

主論文の要旨

Incidence of Inadvertent Intraoperative Hypothermia with Continuous Air Forced Active Warming. Single Center, Retrospective Study

(温風式加温機による積極的加温処置下の術中偶発的低体温の発生率 単一施設における後ろ向きの検討)

東京女子医科大学麻酔科学教室
(指導：尾崎 眞教授)
湯本 充規子

雑誌 **Journal of clinical Anesthesia and Management**
第 2 巻第 2 号 Open Access (平成 29 年 11 月 3 日発行) に掲載

【要 旨】

低体温は様々な手術において周術期の心血管系合併症の発生や創部感染および出血量の増加と 3 大合併症の発生率を増加させることは、これまでも報告されている。加えて術後回復や入院期間の延長などとの関連も示唆されている。これらより麻酔科医にとって術中の体温管理は安全性および麻酔の質において非常に重要な分野である。そのため近年、多くの麻酔科医は低体温予防の意義を理解はしているものの、未だ積極的体温管理がすべての施設で行われているわけではない。この積極的体温管理のために一般的なのが温風式加温機であるが、いままでに温風式加温機がどの適度低体温の予防に寄与しているのかははっきりとした報告はない。そこで温風式加温機を積極的に使用している当院での体温管理の実態と低体温発生率や体温管理および低体温に対する認識を検討した。